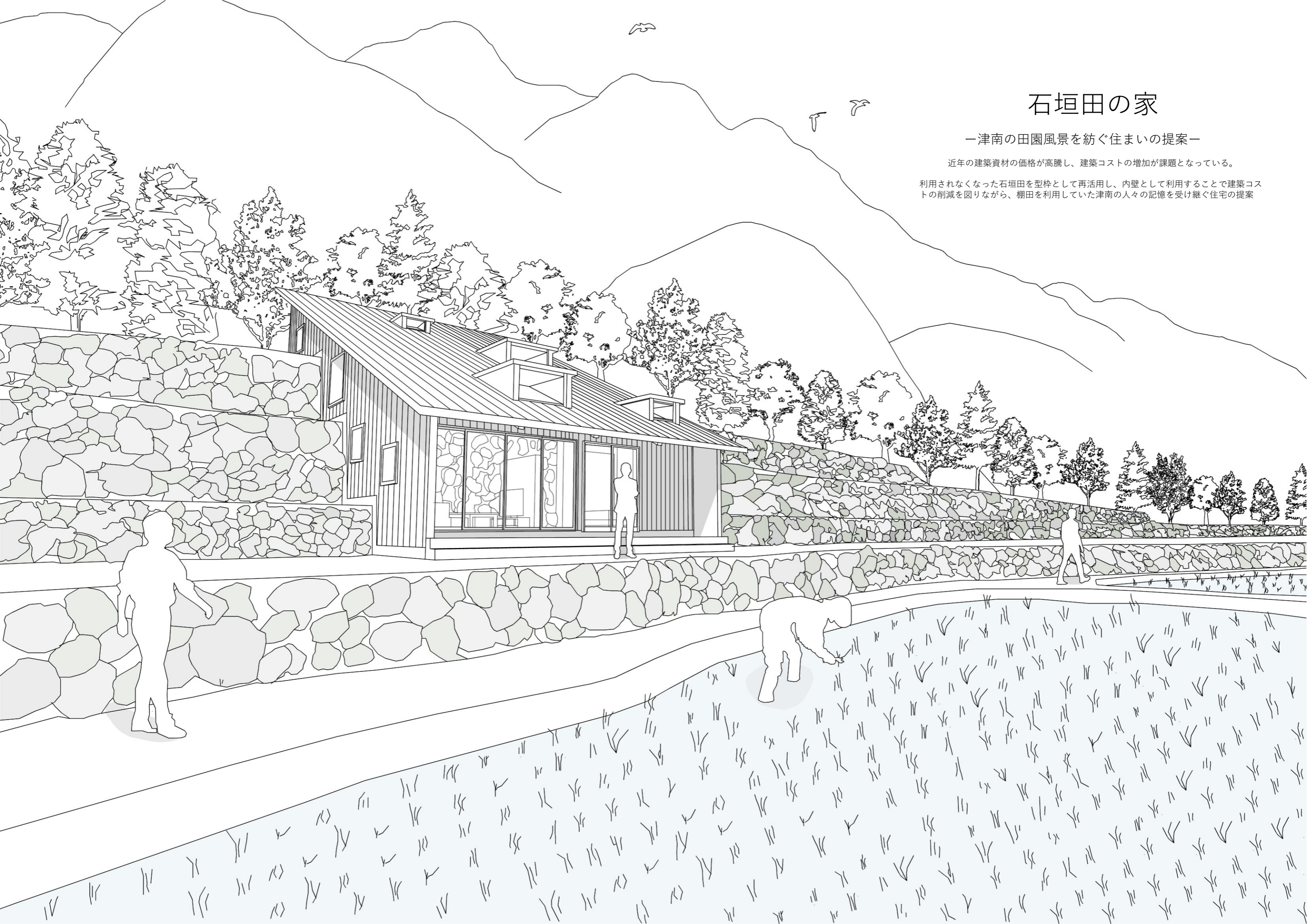


石垣田の家

—津南の田園風景を紡ぐ住まいの提案—

近年の建築資材の価格が高騰し、建築コストの増加が課題となっている。

利用されなくなった石垣田を型枠として再利用し、内壁として利用することで建築コストの削減を図りながら、棚田を利用していた津南の人々の記憶を受け継ぐ住宅の提案



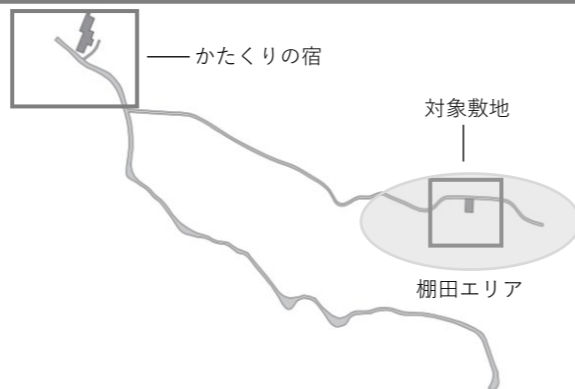
■計画敷地

計画敷地は、新潟県津南町にある**結束の石垣田**。

津南町の結束集落の北側に位置する棚田。
石垣で何段にも組み、石積みの高さは高いものになると3mにもなる。
とても美しい景色が広がっており**全国農村景観百選**にも選ばれている。

水を山から水路を引いて確保し、稲作をはじめたこの棚田は全国的にも貴重な存在となっている。現在は、周囲の農道が狭く大型機械が入れないため農作業が大変なことや、村人の高齢化もあり、使われない田んぼが増えてきている。

毎年6月には、石垣田にろうそくを灯すイベントも開催されている。



■敷地選定理由

結束の石垣田の魅力は、先人の苦労と情熱が作り上げた**壮大な石積みの景観**、棚田の地形、豊かな自然などがある。
しかし現代では村人の高齢化などで棚田を使用する人が減ってきている。

この地の壮大な石垣と、役目を終えつつある棚田の地形を活かし、かつて利用していた津南の人々の営みを継承しながら、**建築コストの削減**にもつながる設計はできないだろうか。



■設計背景

近年、地域の農業環境の変化に伴い、かつて活用されていた石垣田は維持管理が難しくなり、**手つかず**のまま残されるケースが増えている。
一方で現代の住宅建設においては、**建築資材の価格の高騰**が課題となっている。

こうした設計背景を踏まえ、使われなくなった**石垣を型枠**として再利用し、そのままコンクリート壁の内壁として利用する。

石垣を型枠として利用することにより**建築コストの削減**と**地域資源の循環利用**を同時に実現する提案。

■石垣の棚田について

この石垣は、鳥甲山と**苗場山の溶岩**（柱状節理）が崩れた落石を利用している。
急傾斜地が多い地域で、土だけでは崩れやすいため昔の人々が石を積むことによって棚田を安定させた。

また山ざわ（溶岩壁下部のガレ場）には「風穴」が点在していて、エソヒョウタンボクなどの希少な植物が点在している。

■設計概要

対象敷地：新潟県中魚沼郡津南町結束 敷地面積：223.21㎡

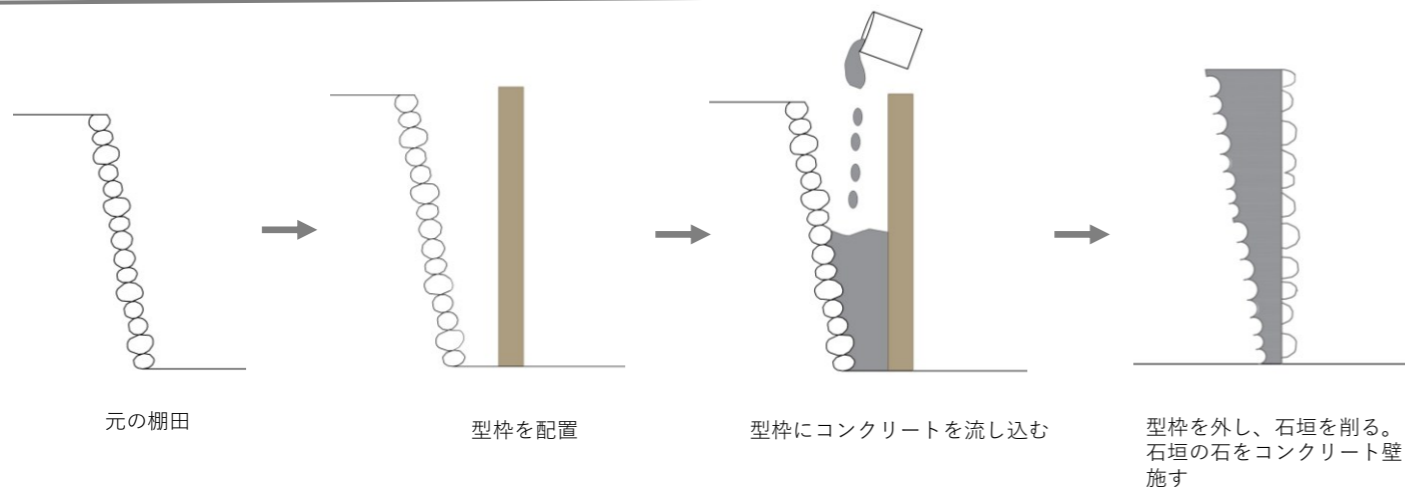
施設用途：専用住宅 床面積：79.49㎡

構造：木造平屋建て

■家族構成について

40代夫婦の二人暮らし

■石垣田の利用方法



■配置計画

周囲の景観や**自然に溶け込むよう**に、棚田の段差に合わせて建物を配置した。

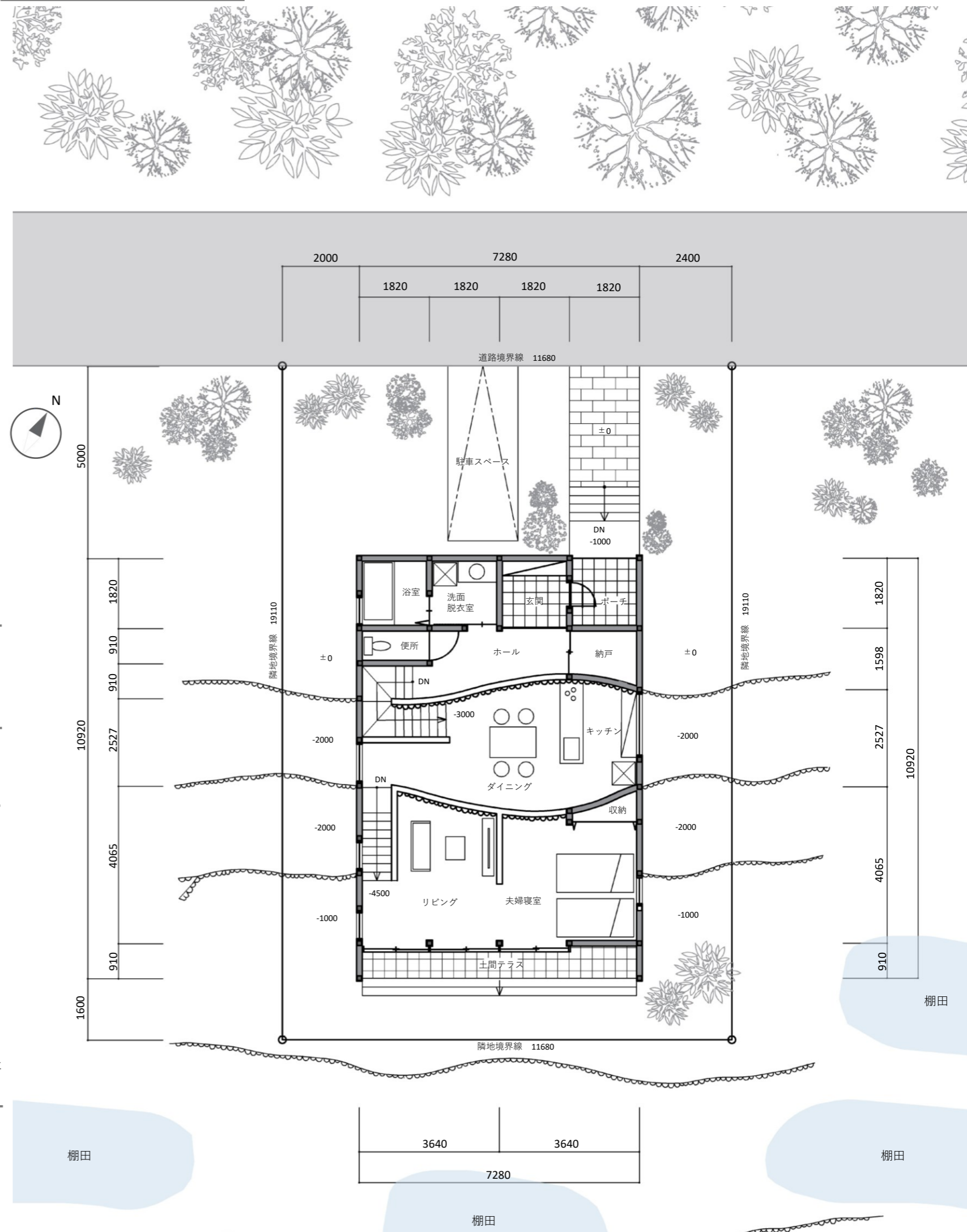
住宅の周りは棚田が広がっており四季折々の景色や水田を眺めることができる。
北側には山があり豊かな自然を感じることができる。

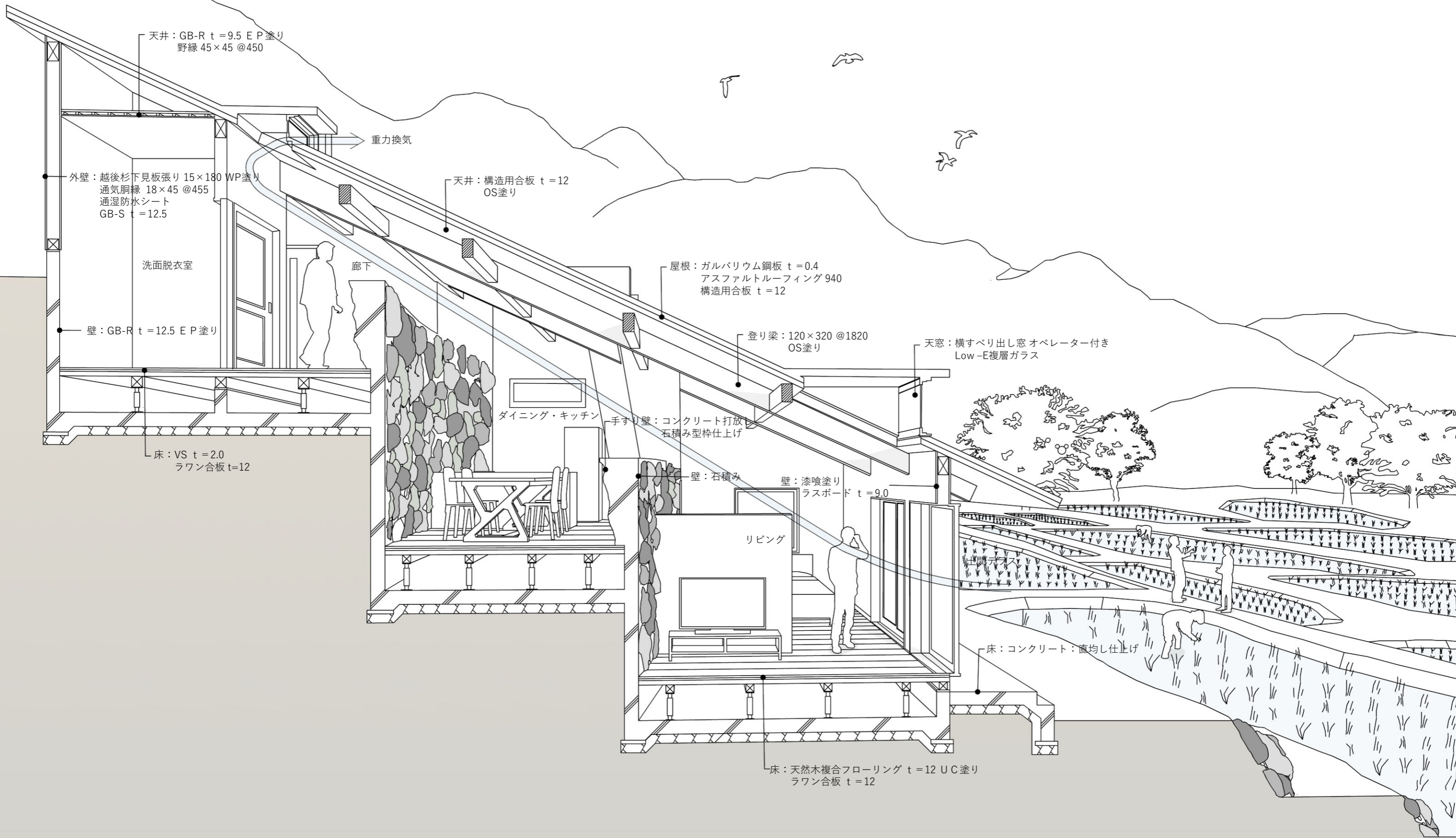
■平面計画

木造平屋建ての住宅となっている。内壁をもともとあった棚田の形を活かして曲線にした。

リビングと土間テラスの間に大きい窓を設けリビングを明るく開放的な空間とした。

■配置図兼1階平面図 1/100





天井：GB-R t=9.5 E P塗り
野縁 45×45 @450

重力換気

外壁：越後杉下見板張り 15×180 WP塗り
通気胴縁 18×45 @455
通湿防水シート
GB-S t=12.5

洗面脱衣室

廊下

天井：構造用合板 t=12
OS塗り

屋根：ガルバリウム鋼板 t=0.4
アスファルトルーフィング 940
構造用合板 t=12

壁：GB-R t=12.5 E P塗り

登り梁：120×320 @1820
OS塗り

天窗：横すべり出し窓 オペレーター付き
Low-E複層ガラス

床：VS t=2.0
ラワン合板 t=12

ダイニング・キッチン

手すり壁：コンクリート打放し
石積み型枠仕上げ

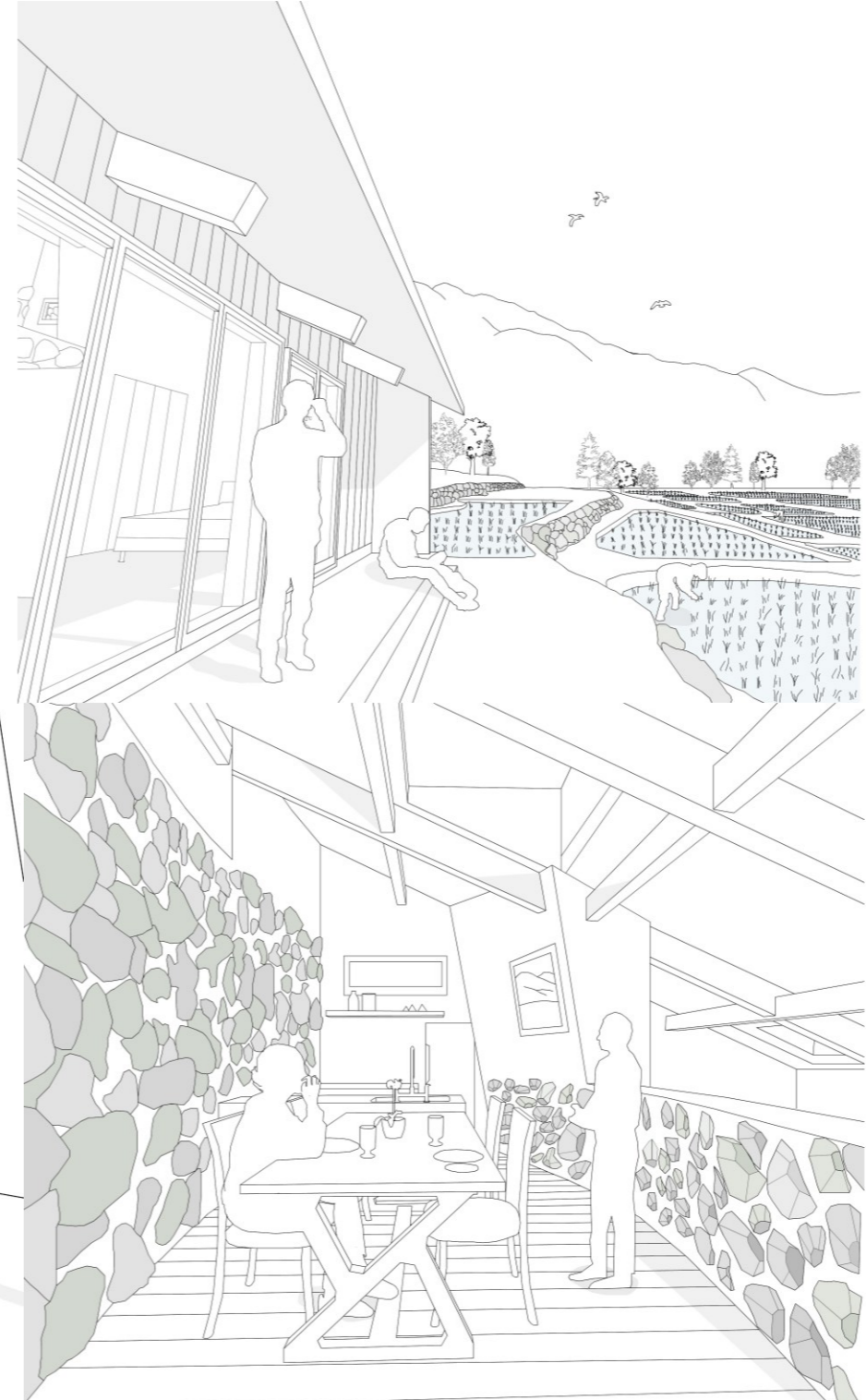
壁：石積み

壁：漆喰塗り
ラスボード t=9.0

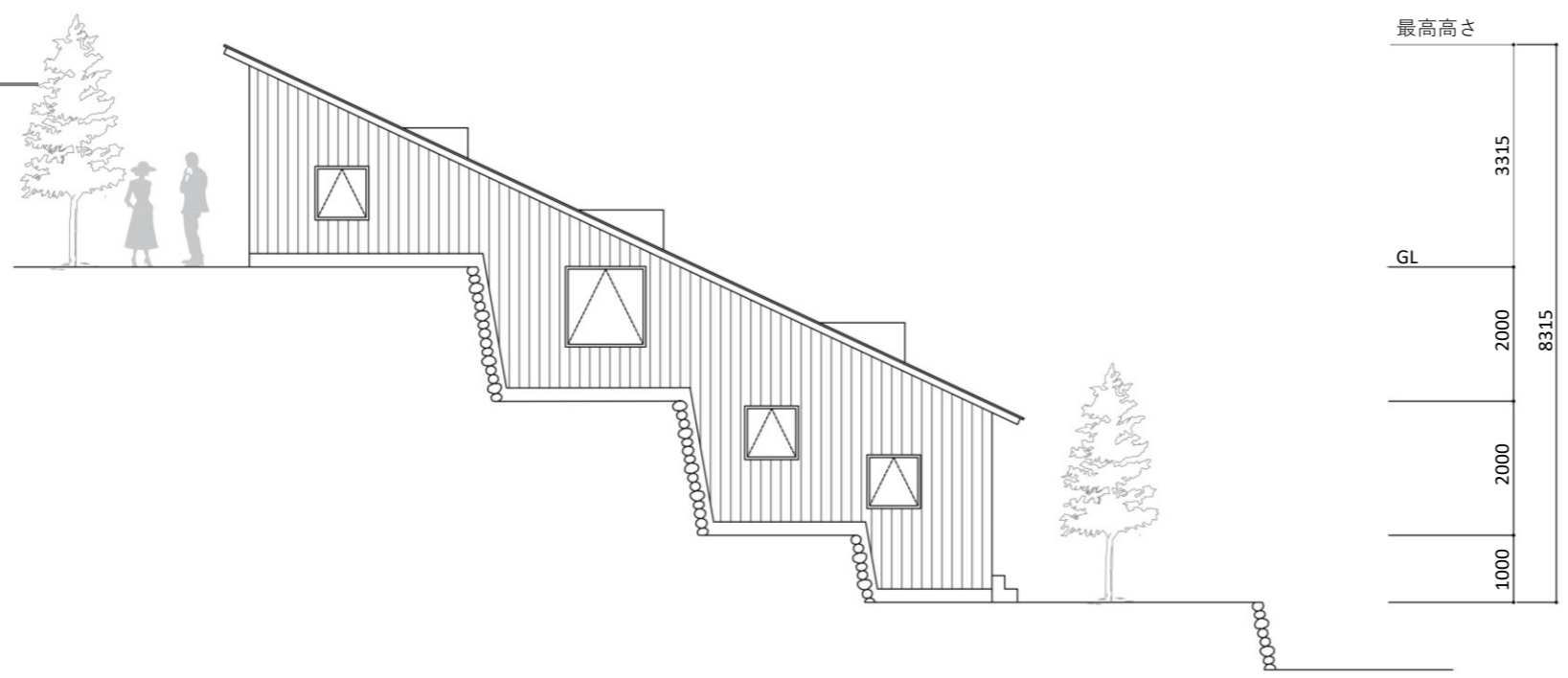
リビング

床：コンクリート：直均し仕上げ

床：天然木複合フローリング t=12 UC塗り
ラワン合板 t=12



■立面図 1/100



■立面計画

棚田の高低差に合わせて建物を配置し、周囲の景観や自然に溶け込むような住宅とした。

棚田の高低差は、GLから-2000、-2000、-1000となっている。

外壁材は縦目地の板張りとし、木のぬくもりや質感を出し柔らかく、温かみのある印象を与えた。

屋根は片流れ屋根とし、シンプルでスタイリッシュな外観となるようにした。また棚田の地形と平行に屋根屋根を設けて周りの風景に溶け込みやすくした。

トップライトを設けて自然光を多く取り込めるようにし、室内の快適性とデザイン性を高めた。また通風にも配慮し、換気効率を高めた。